（仮称）熊谷中心市街地にぎわい景観まちづくりプラン（案）
に対する意見及び市の考え方

1　意見募集期間
令和８年２月１３日（金曜日）から令和８年３月１２日（木曜日）まで

2　意見の提出者数及び意見の件数
提出者数　　８名
意見の件数　　２６件

3　意見の概要及び市の考え方

意見の概要	市の考え方
基本理念、方向性は、市民合意形成に十分耐えうる内容であり、原案を尊重すべきと考えます。したがって、それらは市民観点から「合意できるポイント」であります！	今後、各取組を進めるに当たり、市民・事業者・関係団体の皆様と連携し、中心市街地のにぎわい創出と良好な景観形成を推進してまいります。
ご指摘した箇所は特に、素晴らしい！ 「歩きたくなるまち」を中核に捉えた都市構成は、極めて戦略的であり高く評価すべきポイントです。	コンパクトなまちづくりを進めるに当たり、歩きたくなる空間の整備に取り組み、まちの魅力の向上を図ることは重要と考えています。そうした取組にあわせて、良好な景観形成を推進することで、にぎわいのあるまちを目指してまいります。
市民に見える化させるために、より具体的な数値ＫＰＩ＋進捗管理＋予算枠＋担当主体の明記を必須化すべきです。 例えば、下記のように指標、現状、３年後、５年後でＫＰＩ設定するとか！ 歩行者通行量（100%、120%、150%） 空き店舗率（15%、10%、７%） 年間来街者数（100%、130%、170%） イベント開催数（年5回、年15回、年30回）	景観形成による効果を直接的に数値で評価できるかについては課題もありますが、今後、誘導施策の事業化を図る中で、数値目標や進捗管理のあり方について検討してまいります。
下記補完すべきポイントを見つけました。 エリアマネジメント法人（民間主導組織）の設立を明記すべきだと思います。	中心市街地では、現在も様々な団体によってまちづくりに関する活動が行われておりますので、今後、連携の強化を図り、より良い景観形成につながる取組を推進してまいります。
以下３都市モデルを部分導入すべきと強くおすすめします。	今後の誘導施策の事業化を検討する中で他市の事例等も参考にさせていただきま

川越市：歴史×観光×商業の三位一体化 蕨市：コンパクト回遊型にぎわい設計 行田市：水、歴史、市民参加型景観形成	す。
ひねりを加えた「熊谷ヒートアイランド逆転モデル都市」構想 熊谷＝暑い→熊谷＝日本一涼しい歩行都市へ 具体施策：星川、道路、広場にミスト冷却、日射遮蔽シェード、打ち水 IoT、歩行者専用冷却回廊の整備、クールシェアカフェ・クールシェア休憩所整備	今後の誘導施策の事業化を検討する中で参考にさせていただきます。
右側 未来の県庁の先行モデル機能行かなくても済むのに敷地面積 21,282 ㎡に対して建物を低層にしても必要な延床面積 10,000 ㎡を確保でき、かつ平置き駐車場約 120 台も整備できる。 一方、左側 行きたくなるリアルな交流促進と書いてあるのに、敷地面 8,152 ㎡に対して延床面積 35,000 ㎡を詰め込むために地上 11 階建て、立体駐車場約 190 台整備となっている。 人々が集まる方に停めやすい平置き駐車場を整備してゆとりのある建物を建て、行かなくても済む所には 21,282 ㎡も不要だと思う。 熊谷市と埼玉県でもっと協議して、ここに住む市民の便利の良い庁舎作りを目指してほしい。 熊谷市民も埼玉県民なのだ。	北部地域振興交流拠点については、現在基本計画の検討が進められており、具体的な整備内容は今後決定していくものと見込まれますので、いただいた御意見については、担当課と情報共有を図ります。
バスセンターの整備 バスで観光や旅行をする時、バスセンターがあると便利である（パークアイランドに近い感じ。行田市や大宮市、太田市に現在バスセンターがある。）。	バスをはじめとした公共交通の利便性向上は、コンパクトなまちづくりを進める上で大変重要な課題と考えています。より良い景観の形成とともに、中心市街地のまちの魅力向上に関わる施策の１つとして、御意見を関係部署と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。
熊谷寺の観光 ・過去のいきさつがあると思うが、熊	本市のまちの魅力向上につながる貴重な御意見として、今後の市の取組の参考と

谷市のシンボル・歴史として熊谷寺の観光を考えていただきたい（本堂の前までででも)。 ・ラグビーのワイルドナイツも野武士ではなく、騎馬武者にして熊谷直実を推していいと思う。	させていただきます。
まずなによりも、安歩権の確立・担保が大切だと考えております。 また、暑さ対策の一環として街路樹による木陰を構築することを進めていくことも重要であると考えております。	歩行者の安全性や街路樹等による木陰の確保は、より良い歩行環境を形成する上で重要な課題であると認識しています。安全確保と効果的な緑陰の活用が両立するよう、関係部署等と情報を共有し、道路空間の整備や適切な維持管理に努めてまいります。
「緑」を植える場所を考えて下さい。 「緑」を景観や暑さ対策に役立てるのなら、木を育てる事を考えて下さい。	まちなかにおける緑は、景観の向上に加え暑さ対策として、快適な歩行環境の形成に繋がる重要な要素と認識しています。一方で、歩行者の安全性や快適性を確保するためには、一定程度歩行空間を確保する必要があります。限られた道路空間で効果を発揮できるよう、関係部署と連携し、街路樹等の適切な維持管理に努めてまいります。
コミュニティひろばに、官公庁のような施設を建てるのは愚策である。おやめなさい。 コミュニティひろばには、上熊谷駅や熊谷駅からの人流が起きるような商業施設(その中に中央公民館を移転するのもあり)を建てるべし	北部地域振興交流拠点については、現在基本計画の検討が進められており、具体的な整備内容は今後決定していくものと見込まれますので、いただいた御意見については､担当課と情報共有を図ります。
車椅子の方が安心して国道を渡れるよう、エレベーター付きの歩道橋を作ってほしい。	歩行者の安全性や回遊性の向上に関わる御意見として、関係部署等と共有し、今後の検討の参考とさせていただきます。
大きな建物に合わせて低層の建物のデザインを決めていく順序がよろしいのでは？ 有名デザイナーに熊谷駅前のデザインをしてもらうとか、三菱地所などに開発	大きな建物は、まちのランドマークとなり、景観に与える影響も大きいため、現在も本市景観条例に基づく届出により、色彩等の誘導が図られています。デザインの誘導に関しては、今後の施策の事業

をしてもらうとか	化を検討する中で参考にさせていただきます。
計画の目標は「にぎわいの創出」自体ではなく、「収益が成り立つ民間事業の創出」と「利益が再投資される更新サイクルの構築」を中心に据えてください。あわせて、成果指標として来街者数やイベント参加者数だけでなく、売上、出店継続率、民間投資額、空き店舗再生後の定着率などを明記してください。	本プランは、中心市街地の良好な景観形成を目的とし、将来像と方向性を示すものです。 いただいた御意見は今後の誘導施策の事業化を検討する際の参考とさせていただき、来街者数や出店の継続率等の数値目標のあり方について検討してまいります。
空き店舗・低未利用地対策は、「空きを埋めること」ではなく「成功する店を育てること」を目的にしてください。想定顧客、誘導したい業種、許容家賃、投資回収年数、３年後の定着目標など、事業成立の条件を明記してください。	空き店舗・低未利用地対策は、中心市街地の景観と調和しながら、魅力ある店舗等が継続して立地し、まちの活力につながることが重要だと認識しております。 本プランは、良好な景観形成を目的としているため、個々の事業の成立条件まで明記することは困難ですが、今後、誘導施策の事業化を図る中で、より良い景観形成とともに、定着のための数値目標等についても検討してまいります。
イベント、社会実験、キッチンカー、暫定活用については、独立採算性、常設化への移行条件、周辺店舗への波及効果、見直しや終了の判断基準を明記してください。	各種のイベントや社会実験について、効果を評価し、その後の展開や取組につなげることは重要です。一方で、景観形成による効果を直接的に数値で評価できるかについては課題もありますが、今後、誘導施策の事業化を図る中で、効果測定や数値目標のあり方について検討してまいります。
星川通りの遊歩道近辺で、無料給水サービスまたは常設のマイボトル対応給水機の設置を検討してほしいです。熱中症対策やプラスチックごみ削減、来街者の満足度向上につながると思います。	快適な歩行環境の形成には、緑陰等によって涼しく滞在できる空間の確保も効果的であり、熱中症対策にもなり得ると認識しています。御意見は、そうした取組とあわせ今後の誘導施策の事業化を検討する中で参考にさせていただきます。
パークレットキッチンカーゾーンについて賛成ですが、キッチンカーは使い捨てごみが多く発生する販売形態となります。容器のシェアリングサービスな	今後の誘導施策の事業化を検討する中で参考にさせていただきます。

ど、できる限りごみが発生しない販売方法を検討いただけると環境負担が減ると思います。	
ミストの活用とありますが、夏場の酷暑の中で駅前のミストの効果をほとんど感じない状況です。植樹や日除け、水分補給エリアや日傘の貸し出しなど、何らかの形で別の暑さ対策もご検討いただけると嬉しいです。	夏場の暑さ対策は、まちづくりを進める上でも大きな課題と認識しています。熱中症警戒アラートの活用など、ソフト面の対策とともに、緑陰の確保など、熱中症対策に総合的に取り組む中で、御意見を参考にさせていただきます。
補助制度や低利融資の列挙だけでなく、地元金融機関を含む事業性審査の仕組みと、地区経営を担う実施主体を明記してください。誰が投資判断を行い、誰が公共空間の運営収支を管理し、誰が成果責任を負うのかを示してください。	持続可能な形で様々なまちづくり活動を展開するには、事業性に着目し、継続的にその妥当性を確認していくことは重要と認識しています。本プランは、良好な景観形成を目的としているため、個々の制度や仕組みの詳細まで明記することは困難ですが、今後、誘導施策の事業化を検討する中で、円滑な実施体制の構築等により、まちづくりに関係する取組の持続可能性を高め、にぎわいの創出と良好な景観形成につながるよう検討してまいります。
ターゲット顧客を「市民の日常利用」と「市外来訪者の広域需要」に分けて整理し、駅前、星川、歴史文化エリアごとに求める機能と業種を具体化してください。	交通の要衝としての特徴や都市機能の集積状況等、本市の中心市街地が担う広域的な役割は、まちのにぎわいにつながる重要な要素と認識しております。本プランでは各エリアの特性を踏まえた景観形成に関する考え方を示しておりますが、中心市街地への来訪者の属性に着目することに関しても、今後の誘導施策の事業化を検討する中で参考にさせていただきます。
公民連携によるまちづくり活動の取り組みについては賛成です。ぜひ、まちづくりや起業に関心がある方だけでなく環境団体や子育て支援など様々な団体・属性の方の意見を反映できる体制を検討してほしいです。 また、特定非営利活動法人熊谷クールシ	中心市街地では、現在も各種団体によってまちづくりに関する活動が行われておりますので、今後、一層連携の強化を図るとともに、様々な方がまちづくりに参加できる環境づくりを推進していきます。

ティラボという団体を組織し、公民連携の市民側の意見集約機関としたい旨をクロスロードシンポジウムで伺いました。その団体の 2024 年度事業報告書にて、名簿に男性のお名前しかなくジェンダー不平等であると感じました。性別にかかわらずまちづくりに参加できるような体制づくりを望みます。	
「暑さ・スポーツ・川・歴史」をテーマにした景観演出には賛成ですが、文化を楽しむ施設や設備の改善をご検討いただきたく思います。文化センターを活用し、例として文化センターまでの導線にて開催中の展示や開催予定の興行の紹介をするなどご検討いただければと思います。	熊谷らしい景観の演出のためには、各地域を特徴づける施設等との連携を図ることが効果的であると認識しています。いただいた御意見については、誘導施策の事業化を検討する中で、関係部署等と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。
熊谷らしさを象徴する素材やパターンを、舗装・サイン・ベンチなどに反映させるという点について、県産木材を使用するなど環境へ配慮した素材の使用を積極的に検討いただけると嬉しいです。	本市では、「熊谷市内の建築物等における木造化・木質化等に関する方針」を定め、公共事業における県産木材の利用についての取組を進めております。各種事業の実施に当たっては、今後も県産木材の積極的な活用に取り組んでまいります。
駐車場に関する計画が記載されていますが、公共交通機関や歩行・自転車でのアクセスしやすさについても計画を検討していただきたいです。（バス停に屋根を設置、自転車置き場を設置など）	公共交通の利便性向上は、本市の進めるコンパクトなまちづくりを目指す上で大変重要な課題と考えています。より良い景観の形成とともに、中心市街地のまちの魅力向上に関わる施策の１つとして、御意見を関係部署と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。